

第一種衛生管理者試験解答解説(平成 27 年 10 月公表)

[関係法令(有害業務に係るもの)]

問 1(4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)誤り

深夜業を含む「有害業務」に常時 500 人以上の労働者を従事させるときは産業医を「専属」にしなくてはならない。

- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 1 の変形

問 2(1)

- A…酸素欠乏等危険作業
- B…特定化学物質業務

平成 26 年 10 月公表 問 3 の変形

問 3(2)

- (1)該当
- (2)該当しない
- (3)該当
- (4)該当
- (5)該当

平成 25 年 4 月公表 問 4 の変形

問 4(5)

A…「局所排気装置」の定期自主検査の記録又は写しは提出不要

B…「除じん装置」の定期自主検査の記録又はその写しは提出不要

平成 25 年 4 月公表 問 3 と同じ問題

問5(4)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)誤り 爆発のおそれがあるので換気に「純酸素」は使用してはいけない

(5)正しい

平成 24 年 10 月公表 問 8 の変形

問6(3)

(1)誤り 有機溶剤業務の従事する労働者に対しては「6月以内」ごとに1回、定期的に特殊健康診断を行う。

(2)誤り 有機溶剤業務を行う作業場所に設けた局所排気装置は「1年以内」ごとに1回定期自主検査を行い、記録を3年間保存する。

(3)正しい

(4)誤り 有機溶剤作業主任者は「技能講習修了者」のうちから選任する。

(5)誤り 作業環境測定は作業環境「測定士」が行う。

平成 26 年 4 月公表 問 6 の変形

問7(5)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)誤り

粉じん作業を行う作業場所は特定などにこだわらず「毎日1回以上」清掃を行わなければならない。

平成27年4月公表 問7と同じ問題

問8(1)

- (1)非密封の放射性物質を取り扱う作業室における空気中の放射性物質の濃度の測定は「1ヶ月」以内ごとに1回行う。
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい

平成27年4月公表 問9の変形

問9(2)

(2)の「ベンジジン及びその塩」は「製造等禁止物質」として製造、輸入、譲渡、提供、使用が禁止されている。

ただし、試験研究のためであるときはこの限りではない。

ちなみに「ジクロルベンジジン及びその塩」は、許可を受ければ製造することができる「製造許可物質」である。

平成27年4月公表 問4と同じ問題

問 10(2)

- (1) 該当
- (2) 該当しない
- (3) 該当
- (4) 該当
- (5) 該当

平成 25 年 4 月公表 問 10 の変形

[労働衛生(有害業務に係るもの)]

問 11(1)

- (1) 誤り 酢酸メチルによる中毒で見られるのは視力低下、視野狭窄である。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 25 年 10 月公表 問 11 と同じ問題

問 12(2)

- (1) 正しい
- (2) 誤り 胸膜肥厚や胸膜中皮腫を生じさせるのは「石綿」である。
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 25 年 10 月公表 問 15 の変形

問 13(3)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) 誤り 空気清浄器はダクトに接続された排風機を通過する「前」の空気が通る位置に設置する。

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 26 年 10 月公表 問 18 とほぼ同じ問題

問 14(2)

(1) 正しい

(2) 等価騒音レベルは「数時間」「1 日」「1 ヶ月」等、比較的「長い期間」の騒音を表すのに使われる評価値である。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 27 年 4 月公表問題 問 14 の変形

問 15(3)

(1) 塩素 … ガス

(2) 塩化水素 … ガス

(3) トリクロロエチレン … 蒸気

(4) 二酸化硫黄 … ガス

(5) アンモニア … ガス

平成 25 年 10 月公表問題 問 12 とほぼ同じ問題

問 16(5)

- (1) マイクロ波は、赤外線より波長が「長い」電磁波である。
- (2) 熱痙攣は、多量の発汗により体内の水分と塩分が失われたところへ水分だけが補給されたとき、体内の塩分濃度が低下することにより発生する。
- (3) レイノー現象等の末梢循環障害、末梢神経障害がみられるのは「局所」振動障害である。
- (4) 凍瘡は、日常生活内での軽度の寒冷により発生するもので、凍結壊死は伴わない。
- (5) 正しい

平成 27 年 4 月公表問題 問 16 の変形

問 17(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) マンガン中毒では筋のこわばり、ふるえ、歩行困難等の症状・障害が見られる。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 15 と同じ問題

問 18(1)

- (1) 正しい
- (2) A測定は、有害物質の濃度の「平均的」な分布を知るために行う測定である。
- (3) B測定は、有害物質の「最高濃度」を知るために行う測定である。
- (4) 記述の単位作業場所は「第二管理区分」になる。
- (5) B測定の測定値が管理濃度「 $\times 1.5$ 」を超える場合はA測定の結果に関係なく「第三管理区分」となる。

平成 27 年 4 月公表問題 問 18 の変形

問 19(4)

- (1) 使い捨てではなく、ろ過材取替え可能(簡単な手入れで捕集効率が復元できる)なものが良い。
- (2) 防じんマスクは面体の接顔部にすきまを作らないために間に何も入れてはいけない。
- (3) 2種類の有害ガスが混在している場合にはそれぞれのガスに適した吸収缶を使用する。
- (4) 正しい
- (5) 一酸化炭素用の吸収缶は「赤」である。

平成 25 年 10 月公表問題 問 19 の変形

問 20(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 有害物質による健康障害の大部分は、急性発症を除き、初期又は軽度の場合はほとんど無自覚で初検査の結果により発見されることが多い。
- (5) 正しい

平成 27 年 4 月公表問題 問 20 の変形

[関係法令(有害業務に係るもの以外のもの)]

問 21(5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 衛生管理者は少なくとも毎「週」1 回、作業場を巡視する義務がある。

平成 25 年 4 月公表問題 問 21 とほぼ同じ

問 22(5)

- (1) 衛生委員会は業種に限らず常時50人以上の労働者を使用する事業場において設置しなければならない。
- (2) 衛生委員会と安全委員会に代えて安全衛生委員会を設置することは可能である。
- (3) 事業場で選任している衛生管理者は、すべてではなく、少なくとも1人を衛生委員会の委員としなければならない。
- (4) 衛生委員会の議長となる委員は衛生管理者でなくてもよい。
- (5) 正しい

平成 27 年 4 月公表問題 問 22 の変形

問 23(1)

- (1) 雇入時の健康診断の項目は医師の判断では省略することは出来ない。
- (2) 違反していない
- (3) 違反していない
- (4) 違反していない
- (5) 違反していない

平成 26 年 10 月公表問題 問 23 と同じ問題

問 24(2)

- (1) 正しい
- (2) 面接指導は「労働者の申出」により行われる。
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 24 の変形

問 25(5)

- (1)違反していない
- (2)違反していない
- (3)違反していない
- (4)違反していない
- (5)定期的な大掃除は「6カ月」ごとに1回行わなければならない。

平成 26 年 10 月公表問題 問 25 の変形

問 26(1)

- (1)就業規則の作成又は変更には、過半数労働組合(過半数代表)の「意見」を聞けば良く同意は不要である。
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい

問 27(3)

- (1)誤り
- (2)誤り
- (3)正しい
- (4)誤り
- (5)誤り

平成 26 年 10 月公表問題 問 27 とほぼ同じ

[労働衛生(有害業務に係るもの以外のもの)]

問 28(2)

(1) 正しい

(2) 直接照明は光の利用率は高いが、照明が不均等になり陰影などを伴い、目の疲労を起こしやすい。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 27 年 4 月公表問題 問 28 の変形

問 29(4)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) 正しい

(4) 健康指導にはメンタルヘルスケアを含む。

(5) 正しい

問 30(3)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) 脳梗塞には動脈硬化が原因で発生する「脳血栓症」と血栓が原因で発生する「脳塞栓症」の2種類がある。

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 31 の変形

問 31(3)

- (1) 単純骨折とは、皮膚損傷のない骨折(皮下骨折)のことをいう。
- (2) 複雑骨折とは、骨の先端が皮膚から出ている骨折(開放骨折)のことをいう。
- (3) 正しい
- (4) 骨折部の固定のための副子は、先端が手先や足先から少し「出る」ようにする。
- (5) 脊髄損傷が疑われる場合は、負傷者を「硬い板の上に乗せて」搬送すると良い。

平成 25 年 10 月公表問題 問 31 と同じ問題

問 32(2)

- (1) ノロウィルスは毒素系ではない。
- (2) 正しい
- (3) 潜伏期間は1～2日である。
- (4) 発生時期は「冬季」が多い。
- (5) 嘔吐下痢などの症状が特徴である。

平成 25 年 10 月公表問題 問 32 とほぼ同じ

問 33(5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) ショック不要のメッセージが流れた後も胸骨圧迫を続ける必要がある。

平成 25 年 10 月公表問題 問 33 と同じ問題

問 34(2)

- (1) 正しい
- (2) 応急手当として推奨されているのは「直接圧迫法」である。
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 34 とほぼ同じ問題

[労働生理]

問 35(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 「内側の髄質」と「外側の皮質」の記述が逆である。(皮質＝灰白質、髄質＝白質)
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 25 年 4 月公表問題 問 39 の変形

問 36(1)

- (1) 心筋は、意志と無関係に動く不随意筋である「横紋筋」から成る。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 36 の変形

問 37(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 呼吸中枢は「延髄」にある。
- (5) 正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 35 の変形

問 38(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 赤血球の「破壊」が肝臓の機能である。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 38 の変形

問 39(1)

- (1) 腎小体で、糸球体からボウマン嚢に濾し出されるのは「血球」「蛋白質」以外の成分で「糖」は含まれていない。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 26 年 4 月公表問題 問 39 と同じ問題

問 40(2)

(1) 正しい

(2) 蛋白質は、膵臓から分泌される消化酵素である「トリプシン」などによりアミノ酸に分解される。

「膵リパーゼ」は脂質を分解する消化酵素である。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 26 年 4 月公表問題 問 38 と同じ問題

問 41(2)

(1) 正しい

(2) 眼は「水晶体」の厚さを変えることにより焦点距離を調整する。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 27 年 4 月公表問題 問 41 の変形

問 42(5)

(1) 筋肉の縮む速さが「適当なとき」に仕事の効率は大きい。

(2) 筋肉と神経では筋肉の方が疲労しやすい。

(3) 荷物を持ち上げたり、屈伸運動をする時は「等張性収縮」が生じている。

(4) 筋線維が太くなることにより筋力が増強する。

(5) 正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 42 の変形

問 43(1)

(1) 正しい

(2) 外部環境が変化しても身体内部の状態を一定に保つ生体の仕組みを「生体恒常性(ホメオスタシス)」という。

(3) 外気が寒い場合、血管は「収縮して血液量を減らし」血液を冷やされないようにして体温を温存する。

(4) 不感蒸泄とは、発汗はせず、意識されずに皮膚や呼吸器からの水分が蒸発する状態をいう。

(5) 特に手足からの発汗が多いのは精神性発汗である。

平成 24 年 10 月公表問題 問 43 の変形

問 44(2)

A…誤り ストレッサーは、心身の活動の「抑圧」だけでなく「亢進」にも作用する。

B…正しい

C…正しい

D…誤り 物理的な要因もストレッサーの要因となる。

よって

(1) 誤り

(2) 正しい

(3) 誤り

(4) 誤り

(5) 誤り